

資料番号	4
------	---

令和5年2月21日
課名 商工労働局
コロナ機動的経済支援プロジェクト・チーム
担当者 担当課長 三牧
内線 3460

広島県経済の動向

令和5年2月21日

商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	飲食	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		R5年
	11月	12月	1月
基調判断	景気は、緩やかに持ち直している		景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している
輸出	おおむね横ばいとなっている		このところ弱含んでいる
生産	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる	
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	持ち直している		
個人消費	緩やかに持ち直している		
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している		

(2) 先行き

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和5年1月25日公表)】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		R5年
	11月	12月	1月
基調判断	緩やかに持ち直している		
輸出	供給制約の影響が和らぐもとの、 持ち直している		
生産	供給制約の影響が和らぐもとの、 持ち直している		
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	持ち直しつつある		
住宅投資	貸家・分譲を中心に持ち直している		横ばい圏内の動きとなっている

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、感染症などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和5年2月3日公表）】

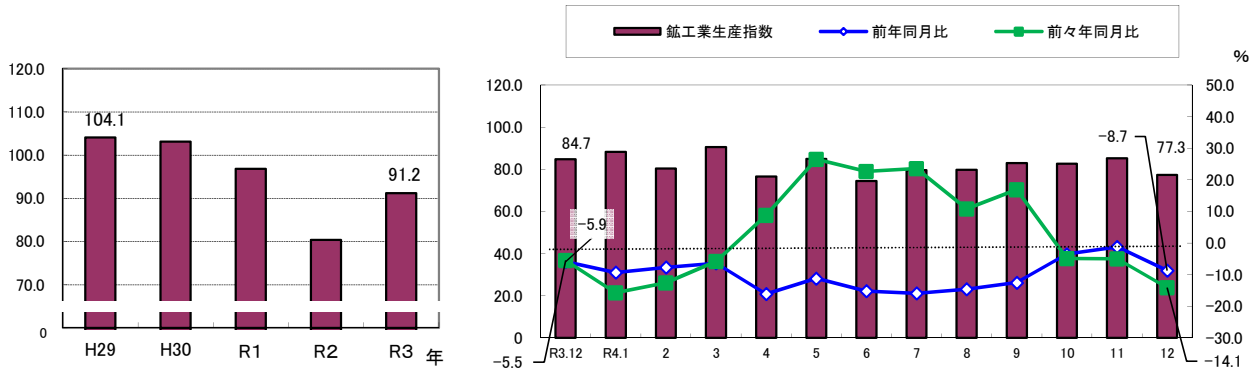
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年12月)

12月の鉱工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は77.3で, 前年同月比で8.7%減少, 前々年同月比14.1%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

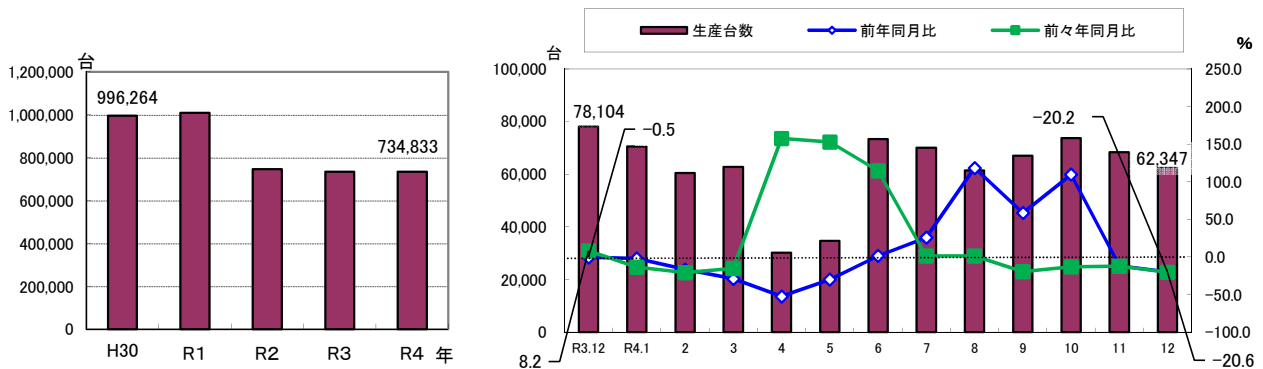


2 自動車(令和4年12月)

12月の国内生産台数は62,347台で, 前年同月比で20.2%減少, 前々年同月比20.6%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

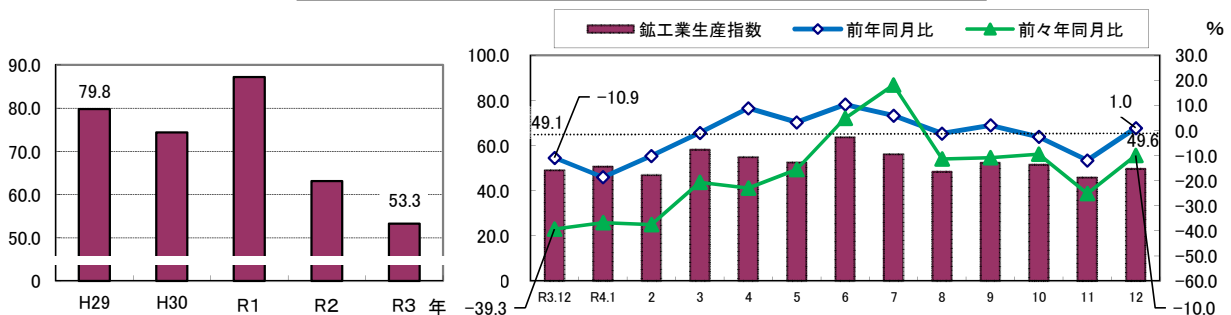


3 造船(令和4年12月)

12月の鉱工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は49.6で, 前年同月比で1.0%増加, 前々年同月比10.0%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

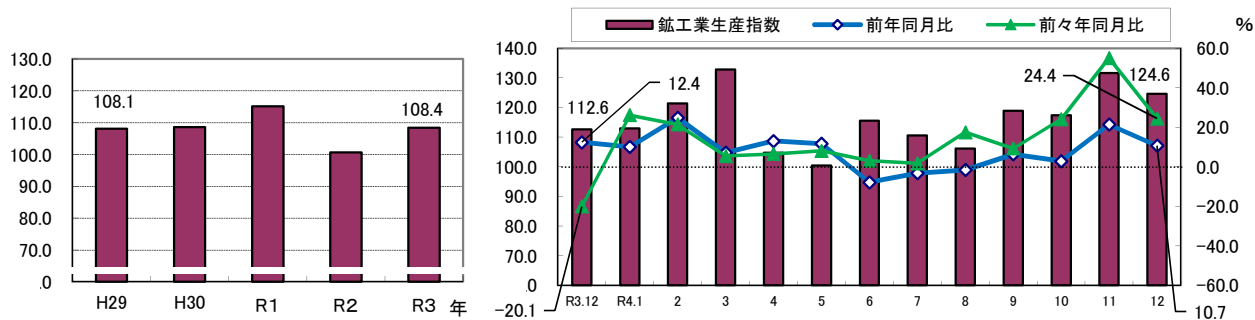


4 一般機械(令和4年12月)

12月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は124.6で, 前年同月比で10.7%増加, 前々年同月比24.4%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

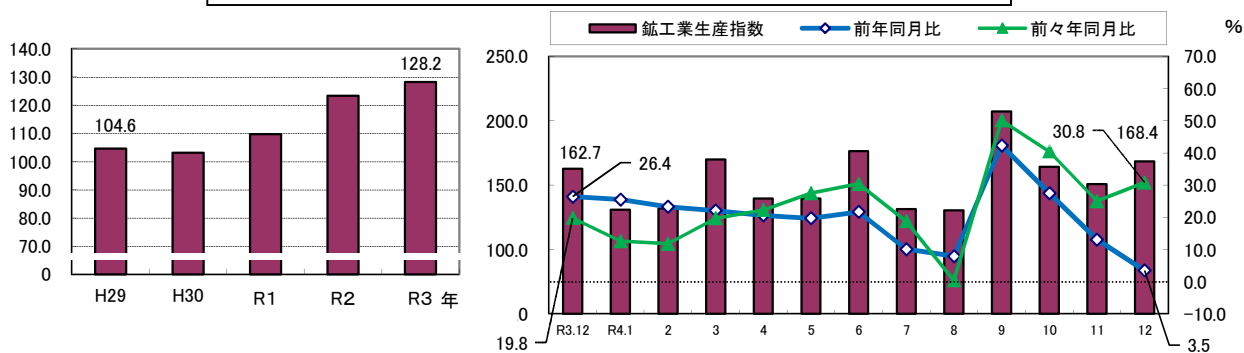


5 電気機械(令和4年12月)

12月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は168.4で, 前年同月比で3.5%増加, 前々年同月比30.8%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



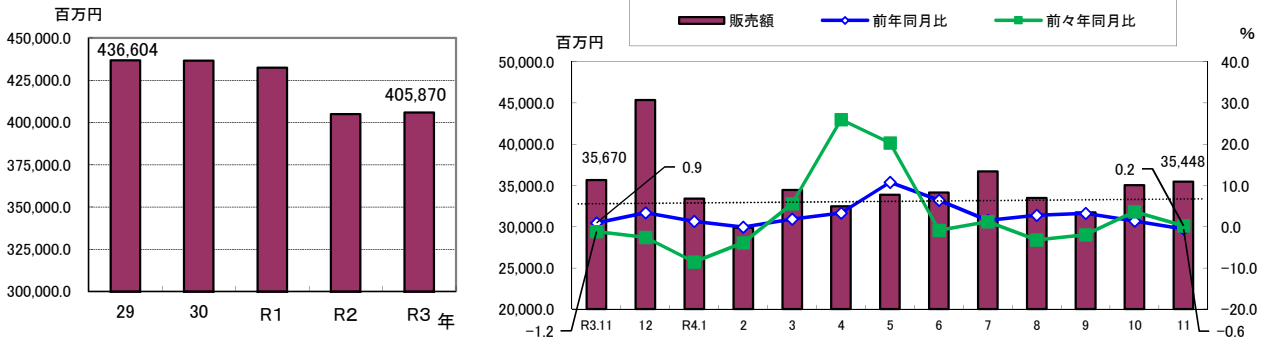
Ⅲ 県内小売業等の動向

1 百貨店・スーパー(令和4年11月)

広島県の11月の販売額は、35,448百万円(速報値)で全店舗前年同月比で0.6%減少、前々年同月比0.2%増加となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【中国経済産業局】



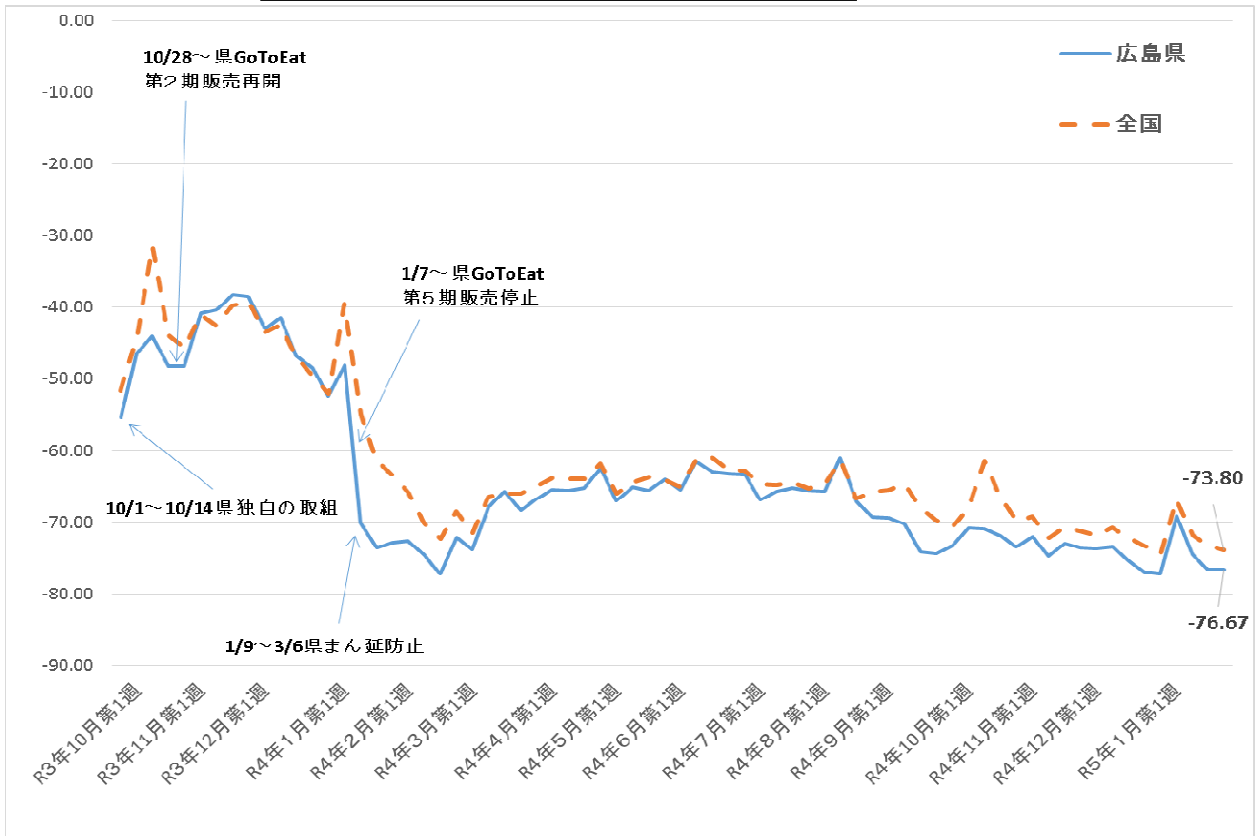
2 飲食(令和5年1月)

広島県の1月第4週の大手飲食店情報サイト閲覧数の令和元年同週比は76.67%減少となっている。

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局と内閣府地方創生推進室
V-RESAS (Retty株式会社 Food Data Platformより提供)

飲食店情報の閲覧数(広島県)(平成31年・令和元年同週比)

(データ更新日: 令和5年1月29日)



3 観光

(1) 宿泊客数(令和4年11月)

直近の数値である令和4年11月の宿泊客数は89万人泊で、前年同月と比べ12.2万人泊増(+16%)、コロナ前の令和元年同月と比べ約9割程度(△12%)まで回復している。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(単位:万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-11月計
広島県	R4年宿泊者数	51.9	41.0	64.1	70.5	73.9	60.6	74.6	85.9	70.8	81.1	89.0	発表前	763.5
	R3年宿泊者数	30.8	36.7	51.1	43.4	37.6	29.8	49.7	48.5	35.1	63.7	76.8	80.7	503.2
	R3年比	169%	112%	125%	162%	197%	203%	150%	177%	202%	127%	116%	—	152%
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	1,077.7
	R元年比	70%	53%	63%	65%	68%	69%	79%	75%	72%	73%	88%	—	71%
全国	R4年宿泊者数	2,844	2,328	3,346	3,363	3,674	3,447	3,982	4,745	3,942	4,427	4,609	発表前	40,707
	R3年比	163%	131%	123%	151%	177%	173%	132%	152%	173%	138%	125%	—	146%

※R4年は第2次速報値で、R元年及びR3年の宿泊客数は、確定値を反映。

R4年の数値は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数(令和4年12月)

10月～12月は、紅葉や修学旅行シーズンであることや、「全国旅行支援(やっば広島じゃ割)」などにより回復傾向が続いており、多くの施設で前年同月と比べ増加しているほか、一部の施設では令和元年同月と同水準近くまで回復している。

【各観光施設からの聞取調査】

(単位:人)

観光施設	R元年			R3年			R4年			
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月	
広島平和記念資料館	237,213	197,984	94,291	67,337	107,564	77,496	130,893	148,349	91,950	
	R元年比	—	—	—	28%	54%	82%	55%	75%	98%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	194%	138%	119%
宮島来島者数	406,033	485,322	282,537	200,325	340,315	254,406	301,607	452,939	292,492	
	R元年比	—	—	—	49%	70%	90%	74%	93%	104%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	151%	133%	115%
大和ミュージアム	97,758	88,610	55,034	30,238	41,909	38,276	51,415	52,129	43,133	
	R元年比	—	—	—	31%	47%	70%	53%	59%	78%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	170%	124%	113%
道の駅たけはら	16,417	15,223	12,647	13,906	12,940	12,231	12,117	12,940	10,728	
	R元年比	—	—	—	85%	85%	97%	74%	85%	85%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	87%	100%	88%
神楽門前湯治村(定期公演)	3,437	4,858	2,101	1,113	2,495	794	2,197	1,272	1,103	
	R元年比	—	—	—	32%	51%	38%	64%	26%	52%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	197%	51%	139%
千光寺ローブウェイ	43,134	47,631	21,740	24,639	37,570	9,634	54,217	47,644	11,549	
	R元年比	—	—	—	57%	79%	44%	126%	100%	53%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	220%	127%	120%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	2,072	1,842	768	1,914	2,010	764	1,448	1,945	620	
	R元年比	—	—	—	92%	109%	99%	70%	106%	81%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	76%	97%	81%
国営備北丘陵公園(千人)	70	72	80	48	100	78	54	77	65	
	R元年比	—	—	—	69%	139%	97%	76%	106%	82%
	R3年比	—	—	—	—	—	—	111%	76%	84%

IV 中小企業の動向(令和4年12月)

【広島県中小企業団体中央会（令和5年1月15日時点）】

1 概況

原材料等のコスト上昇分に対して十分な価格転嫁を行うことが出来ず収益面に大きな影響を受けている様子が窺える中で、引き続き国際情勢による影響を懸念する声や賃上げ政策への対応を不安視する声が挙がっている。今後コスト増が見込まれる中でも事業継続に必要な収益を上げることが当面の課題となると考えられる。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比+2.4%と4ヶ月連続で増加。マツダ車は▲15.2%と7ヶ月ぶりに減少。また、マツダ車の海外販売に関しては、合計台数は84千台、前年同月比+9.7%となった。

木材業界では、全国の令和4年12月の新設住宅着工戸数は67,249戸で、前年同月比▲1.7%。広島県内の着工戸数は1,115戸で、前年同月比▲38.7%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「12月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は12月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	11月の景況感	12月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	普通
金属製品	普通	普通

業種	11月の景況感	12月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	普通	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	11月	12月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	6	7	1
やや悪い	12	11	▲1
悪い	1	1	0

3 前月(11月)から変化のあった主な業種

業種	11月の景況感	12月の景況感	変化の理由・状況
木材	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・今年12月の着工戸数は1,115戸で、対前年同月比▲38.7%、うち持家は392戸で▲14.6%、貸家は360戸で▲50.3%、分譲は363戸で▲41.2%であり、県全体の住宅着工動向は前年同月比が5カ月連続の減少となった。 ・木材価格は落ち着きが見られ始めているが、その他の資材の高騰が住宅価格を押し上げており、特に持家の新規受注が進んでいないとみられる。今後、住宅の省エネ性能、耐震性能向上、住宅ローンの固定金利引き上げなど住宅はさらに高価格化が進むと考えられる。 <p>【広島県木材協同組合連合会】</p>
プラスチック製品	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・諸材料の高騰が事業採算を大きく圧迫している。 ・自動車関連は回復傾向が見られるが、変動幅が大きく不透明感が強い。 <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
造船	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・県内、2500総トン以上の令和4年11月の船舶建造許可実績は5隻、418,750総トンであった。(前月4隻94,670総トン。前年同月5隻198,980総トン)なお、内訳は輸出船が5隻で、貨物船であった。 <p>【中国地区造船協議会】</p>

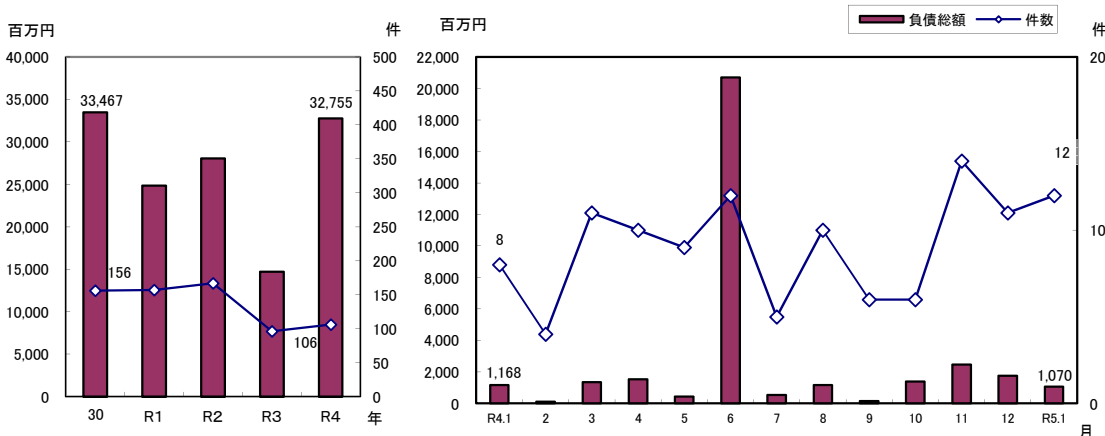
V 企業倒産状況(令和5年1月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が12件、総額10億7,000万円であった。
- ・前月比で件数は1件増加し、負債総額は6億8,900万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は4件増加し、負債総額は9,800万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)の発生はなかった。

区 分	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月
件 数 (前年同月比)	14件 (250.0%増)	11件 (120.0%増)	12件 (50.0%増)
負債総額 (前年同月比)	2,457百万円 (1098.5%増)	1,759百万円 (25.6%増)	1,070百万円 (8.39%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別, 月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が5件、建設業が4件、製造業、サービス業、その他が各1件となった。

負債総額では、製造業、卸・小売・飲食業、建設業、その他、サービス業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が10件、シワ寄せが2件であった。

4 今後の見通し

令和5年1月度の倒産件数は12件と前年同月比3ヵ月連続の増加となったが、令和2年5月以降33ヵ月連続で20件以下の低水準となっている。ただ、2022年10月以降では月間負債総額が4ヵ月連続で10億円を超え、同年11月以降では月間倒産件数が3ヵ月連続で10件を超えるなど徐々に倒産の増加が見受けられる。

業歴別倒産状況では業歴30年以上が1件、20年以上30年未満が2件、10年以上20年未満が6件と業歴10年以上の倒産が全体の75.0%を占め、前月12月度では業歴10年以上の倒産が全体の81.8%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が10件で最多で、既往のシワ寄せ、売掛回収難を合計した不況型倒産は12件で全体の100.0%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は1月度12件中9件発生し、これまでの累計は110件(負債総額1,000万円以上)となり、倒産に占める新型コロナウイルス関連倒産の割合は高まりつつある。

長引くコロナ禍の中で徐々に支援策の減額や打ち切りが始まり、倒産件数は秋頃から増加率を拡大し、倒産は底打ちから反転増勢への流れが顕著になってきた。今後としては、返済が本格化するゼロ・ゼロ融資と新たな資金調達に注目される。ゼロ・ゼロ融資は令和5年4月以降は利子補給も順次終了し、企業の返済負担が増大する。最長5年間の元金据置期間はあるが、夏には返済開始がピークを迎えるとみられる。

こうした事態に中小企業庁は1月10日、新たな借換保証制度(コロナ借換保証)を開始した。すでにウクライナ情勢や円安に対応した借換保証を実施していた自治体も一部ではあったが、「新たな資金(真水)調達は難しく、実態は返済の先送り」という指摘もある。ゼロ・ゼロ融資の副作用として過剰債務を抱えた中小企業は多く、経済活動が正常化するなかで企業の資金支援は従来の枠にとらわれない、合わせ技的な柔軟な方策も必要だろう。

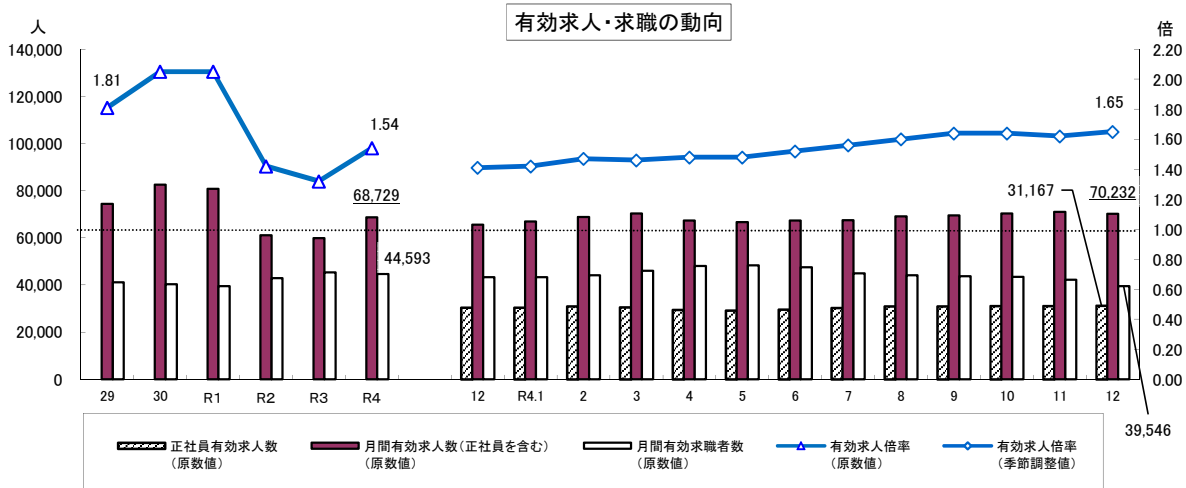
【(株)東京商工リサーチ(2月9日時点)】

VI 最近の雇用失業情勢(令和4年12月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.64倍 (±0ポイント)	1.62倍 (▲0.02ポイント)	1.65倍 (+0.03ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.22倍 (+0.13ポイント)	1.25倍 (+0.12ポイント)	1.33倍 (+0.15ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

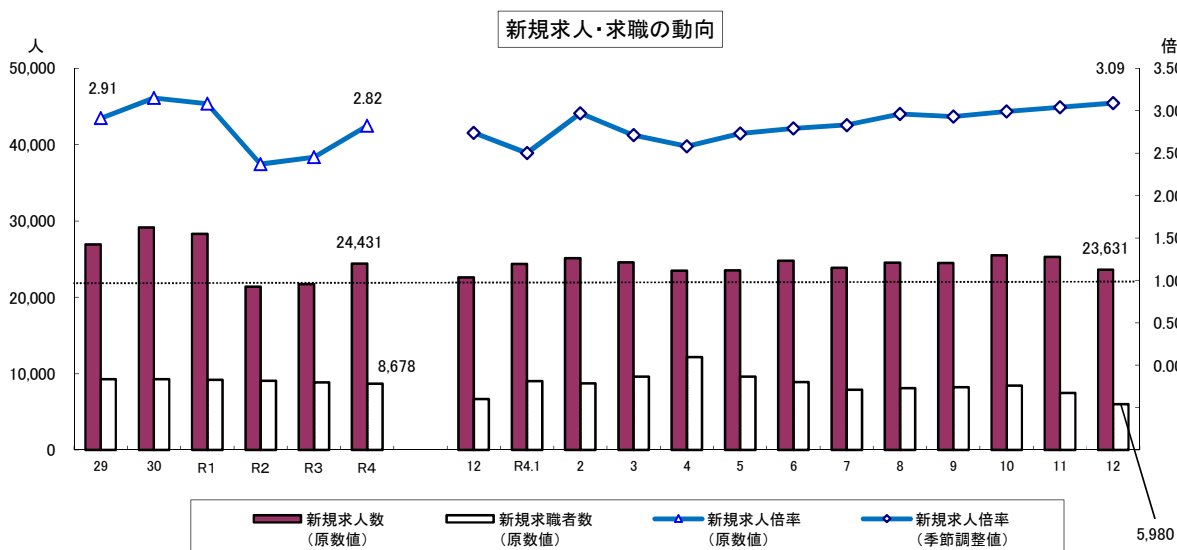
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.99倍 (+0.06ポイント)	3.04倍 (+0.05ポイント)	3.09倍 (+0.05ポイント)

【広島労働局】

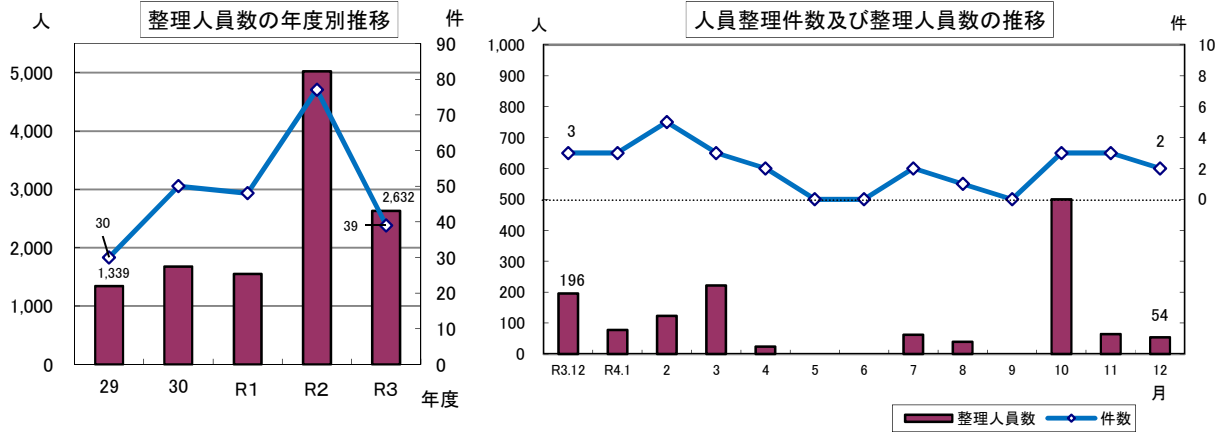


(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月
件数 (前年同月比)	3件 (± 0件)	3件 (▲ 3件)	2件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	500人 (+ 434人)	64人 (▲ 248人)	54人 (▲ 142人)

【広島労働局】

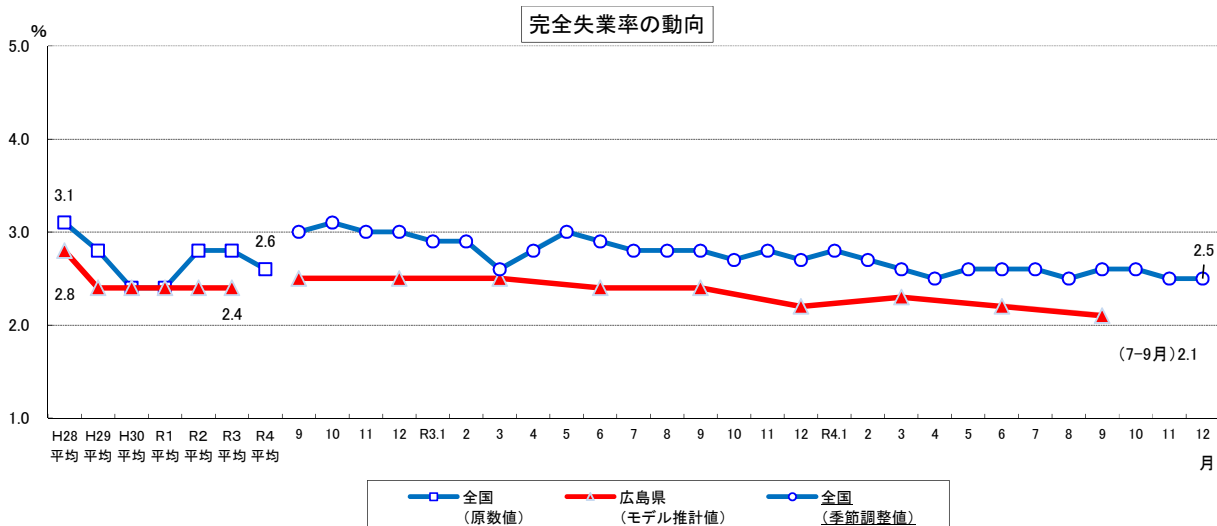


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月
全国完全失業者数 (前年同月比)	178万人 (▲ 6万人)	165万人 (▲18万人)	158万人 (▲15万人)
全国完全失業率<季節調整値> (前月比)	2.6% (±0ポイント)	2.5% (▲0.1ポイント)	2.5% (±0ポイント)

区 分	令和4年		
	1～3月平均	4～6月平均	7～9月平均
広島県完全失業率 <モデル推計値> (前年同期比)	2.3% (▲0.2ポイント)	2.2% (▲0.2ポイント)	2.1% (▲0.3ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。